

指導員の仕事と労働条件

— 現状を把握し、課題の改善を

編集部

学童保育の役割を 果たすために

子どもにとって学童保育は、安心して安全に過ごせる充実した生活の場であることが大切です。学童保育がその役割を果たすことができるよう、学童保育指導員（以下、指導員）は、つぎのようにさまざまな仕事を担っています。

◎子どもが安全に安心して過ごせる生活を守る。

◎放課後と学校休業日の生活を過ごすために必要とされる基本的な生活内容をつくる（休息やおやつ提供などを含む）。

子ども含む）。

◎子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な働きかけを行う。

◎楽しく遊べるよう、環境の整備と、援助を行う。

◎保育内容を記録する。

◎保育内容に関する情報の共有のための会議や打ちあわせを行う。

◎連絡帳やおたより、保護者会・父母会の場などを通じて子どもの様子を保護者に伝える。

子どもが自ら進んで学童保育に通いつづけることを支えるには、家庭と学



童保育の連携が欠かせません。学童保育での生活や、子ども一人ひとりや子どもたちの様子を、指導員の関わりや思いを交えながら、各家庭にていねいに日常的に伝えることは、指導員の大切な仕事です。

そして、これらの仕事をより充実させるためには、事例検討や学習・研修が必要です。

つづきは本誌をこらんどください